

公 表 日

平成31年 4月 8日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成31年度 立野ダム本体工事積算総合検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 立野ダム工事事務所長 阿部 成二 熊本県熊本市下南部1丁目4-73
契約年月日	平成31年 4月 1日
契約業者名	独立行政法人水資源機構
契約業者の住所	埼玉県さいたま市桜区大字神田936
契約金額	40,040,000円(税込み)
予定価格	40,128,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	立野ダム工事事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成31年 4月 1日
履行期間(至)	平成32年 3月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成31年度 立野ダム本体工事積算総合検討業務
2. 履行場所 立野ダム工事事務所管内
3. 契約の相手方 (独)水資源機構
住 所：埼玉県さいたま市桜区大字神田936番地
電 話：048-853-1786
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、立野ダム建設工事に関わる施工計画及び工程等の内容について確認・照査を行い、一期工事変更及び二期工事発注準備に必要な積算根拠資料として、精査とりまとめを行うことを目的とする。

2) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を11者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰に係る技術力を備えていると判断された。

また「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」「業務実施手順」も優れた評価であり、かつ評価テーマⅡの「コンクリートダム本体工事積算の基礎資料作成における留意すべき事項について」に対する技術提案について、的確性が高く優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
立野ダム工事事務所 工事課長